

【PEM+Sci-Ami療法について】
(ペムトレキセド+リブロファズ)



ID:

様

5

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール**（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前		作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
パンビタン末	葉酸を含む 総合ビタミン剤	1日1回 内服																							
フェキシフェナジン錠 アセトアミノフェン錠	アレルギー予防・ 吐き気止め	1日1回 内服	 																						
グラニセトン注 デキサート注		30分										この週は お休みです。							この週は お休みです。						
ペメトレキセド注		抗がん剤	10分																						
リプロファズ皮下注	分子標的薬	5分																							

※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコバル(ビタミンB12)の注射を行います。

😊 治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																						
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	皮疹・皮膚障害																						
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	口内炎																						
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	下痢																						
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
検査値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい等を心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少																						
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	肝機能低下																						
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																					



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。